

# 東芝山岳会



【2004 年度総会記念山行 御在所岳山頂】

連絡先 : 川崎市幸区柳町 70 (株) 東芝柳町事業所内  
代表者(会長) : 小川紀一  
会員数 : 20名(男 19 女 1)

## <創立と歴史>

昭和 22 年 7 月 17 日、全東芝の山岳とスキーの組織「東芝アルパイン・クラブ」として誕生した。初代会長は西堀栄三郎氏であり、昭和 27 年には東芝山岳会として山岳部門が独立し独自の活動を営み始め半世紀の歴史を持っている。(株) 東芝の各工場を支部として構成された全国規模の職域山岳会である。)

協会には当初川崎地区の各工場単位で加盟していたが、東芝内工場の再編等々で会員数も少なくなり平成 3 年からは東芝山岳会として 1 つにまとまって加盟している。このように川崎地区での活動は会社組織に従って縮小傾向に歯止めがかからず、維持・継続をも脅かす状況となってきた反面、三重・姫路といった地方では地道な活動が続けられており、それぞれの県岳連の中核となって活躍している。

主な足跡としては、全国レベルの会でこそ実行可能な山行として昭和 47 年 5 月の「創立 25 周年記念日本アルプス全山分担縦走」・昭和 50 年東芝 100 周年記念での「日本百名山分担登山」などとともに、隔年 5 月連休に続けられている目標山域を定めての集中登山(例; 横尾集中/各工場単位でさまざまなコースを楽しみ横尾に集中)など多くの会員が参加できる山行があげられる。一方、海外への登山も意欲的に取り組んでおり、東芝山岳会として遠征した中国ボゴダ山群無名峰、支部単位でのインドヒマラヤ(2回)・米国ヨセミテ、あるいは個人山行としてのネパールヒマラヤ・ヨーロッパアルプスなどなどがある。